

大二運勝見副所長のパワーハラを許さない！！ くり返される人権無視の社員管理を止めさせよう！

関西支社大阪第二運輸所勝見副所長は、乗務中に個人所有の携帯電話の充電を行っていた組合員に対し、「切腹もんとは思わないのか」と人権を無視する言動を行いました。勝見副所長の発言は「死んで罪を償え」と言っているのに等しく、管理職という会社内の地位を利用したパワーハラスメントであり、看過できない事態です。

JR東海・関西支社では、「お客様への笑顔の接客」を指導する管理者が裏では、今回の組合員に対するパワーハラ以外にも社員への人権を無視した、また人格を否定する言動をくり返しているのです。

JR東海労は9月20日、くり返される管理者のパワーハラスメントを止めさせるために、会社に対して以下の申し入れを行いました。

申し入れ内容

1. 勝見副所長が「切腹もんとは思わないのか」とJR東海労組合員に迫った事象を明らかにすること。
2. 勝見副所長が「切腹もんとは思わないのか」とJR東海労組合員に迫ったことは、まさしくパワーハラスメントである。会社の見解を明らかにすること。
3. 勝見副所長、大阪第二運輸所所長、関西支社長及び社長は当該組合員に謝罪すること。
4. パワーハラスメントを行った勝見副所長は管理者の資質を持っていない。従って、勝見副所長を管理職から降格すること。

「笑顔の接客」の裏でくり返される
管理者の人権無視のパワーハラ！